

検 査

平成24年産米の初検査

24年産の水稻の生育は、大雪の影響により融雪が遅く、一部の地域では春作業の影響を受けましたが、田植え後は好天に恵まれ全道的に生育進度はほぼ「平年並み」で推移しています。茎数は平年値を上回り、穂数は平年並みで一穂粒数は少ないものの空知・上川中央部を中心に平年より若干多く総粒数が確保されている傾向にあり、不稔についても一部の地域を除き、平年より少なく、平年並み以上の作柄が期待できる状況にあります。また、稈長がやや長めのところもあり、台風、大雨による倒伏が懸念されています。

本年産の収穫作業は、8月30日芦別市（空知管内）において昨年の2日遅れで稲刈りを開始、9月3日本年度の初検査が行われました。その全量が1等に格付けされました。

各地区における米穀初検査は下記日程にて実施されており、順次全道各地において豆類などの農産物検査を実施してまいります。

| | | | |
|-------|---------|------|---------------|
| 9月6日 | 上川地区 | 刈取日 | 8月30日(木) |
| 9月12日 | 後志地区 | 検査日 | 9月3日(月) |
| 9月13日 | 道南、留萌地区 | 検査場所 | JA たきかわ 芦別検査場 |
| 9月14日 | 日胆地区 | 銘柄 | 「ななつぼし」 |
| 9月15日 | 石狩地区 | 等級 | 1等 |
| | | 数量 | 57袋/30kg |
| | | 水分 | 15% |



芦別検査場 検査風景